ゼミ C 平成 24 年 9 月 23 日(日) 14:30~16:00

場所	/記号	テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
吉田	C 1	植物のかおりを生態学する 高林 純示 (生態学研究センター教授)	植物のかおりは私たちを楽しませるだけでなく、植物をとりまくさまざまな生き物によって利用され、それらが共存するために重要な役割を果たしていることがわかってきました。この講義では、葉のかおりに注目して、それが紡ぎだす生き物の不思議な関係について、実験、ゲームと講義を行います。	講義・実験・ 実習	保護者 参加型
吉田	C2	実践型地域研究で地域に生きることを楽しもう 安藤 和雄 (東南アジア研究所准教授)	中学生の皆さん、自分たちの身のまわりの 自然や人々活動などに「関わること」に興 味を失っていませんか?自分たちの身のま わりの草木や山川などの自然、ちょっとし た人と自然、人と人との日々の関わりに興 味をいだき、それを記録し、地域を日々の 生活の実践の中で理解していくことこそが 生きる楽しみです。それこそが地域研究の 原点であると私は考えています。日本、バ ングラデシュ、ミャンマーなどの事例をも ちいながらゼミの中で一緒に考えていきた いと思います。	講義	保護者 参加型
吉田	Сз	大学生と語るジェンダー (「男らしさ」や「女らしさ」などの 社会的性別) 伊藤 公雄 (文学研究科教授)	ポケットゼミ参加の京大生とジェンダー (「男らしさ」「女らしさ」とは何か、どん な問題があるかなど)をめぐって議論を行 う。	グループ 討論	中学生 のみ
吉田	C 4	送粉生態学—花を訪れる虫たちに学ぶ 角谷 岳彦 (総合博物館助教)	花粉を運ぶ昆虫の生態研究に関する農学的 重要性を講義した後、京都府下で花を訪れ る昆虫の種構成に関して、実際に博物館に 収蔵されている標本に基づいて比較する。 その比較結果から、現実に京都で起こった 送粉共生系の変化を明らかにすることで、 生物多様性や環境保全に関する理解を深め ることをめざす。	講義・実習	保護者 参加型
吉田	C 5	幸せについてみんなで考えよう ~ブータンから学べる事~ 山崎 正幸 (白眉センター (再生医科学研究所) 特定准教授)	あなたはどんな時に幸せを感じますか?ヒマラヤ地域にいるお年寄りはどんな時に幸せを感じるでしょう?幸せの国ブータンで現地医療を勤めた経験を紹介させていただきつつ、これからの未来を創っていくみなさんと幸せについて考えていきたい。そんなゼミです。	講義	保護者 参加型
吉田	C 6	宇宙の誕生と進化 一宇宙の理解へ向けた多様なアプローチ 大河内 豊 長尾 透 (白眉センター (理学研究科) 特定准教授)	超巨大望遠鏡による宇宙観測。そこから導きだされる宇宙像はどのようなものか? さらに時間をさかのぼり、誕生まもない初期宇宙の素粒子論における理解はどのようなものか? 宇宙の誕生と進化の理解へ向けた研究者の多様なアプローチを紹介したい。	講義	保護者 参観型

場所	/記号	テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
吉田	C 7	ヒノキの花粉生産 一ヒノキの花粉飛散量を予測しよう一 中西 麻美 (フィールド科学教育研究センター助教)	花粉症の原因物質であるヒノキやスギの花粉。毎年、同じような量が飛散しているわけではなく、飛散量は年によって大きく違っています。なぜ年によって違うのでしょうか?これを知れば、花粉の飛散量をおおよそ予測できます。このゼミではヒノキ花粉の飛散量を予測することから、ヒノキの生態についても考えてみます。	装義。商教	保護者 参観型
吉田	C 8	コンピュータで描く地図 小方 登 (地球環境学堂教授)	普段暮らしていても気づかない微妙な地形の特徴を、コンピュータ・グラフィックの技法を利用して視覚化し、経済生活や歴史・文化との関連を説明します。例として、京都・大阪など身近な地域を取り上げる一方、地形図の利用がむずかしい外国について、インターネット上で提供されているデータを利用して地形モデルを描く方法を実演します。	講義・実習	保護者 参観型
吉田	C ₉	イマジナリー・キューブで 立体幾何を楽しもう 立木 秀樹 (人間・環境学研究科教授)	イマジナリーキューブで遊びながら、立体 幾何の不思議を体感し、その裏に存在する 数学を考えましょう。イマジナリーキュー ブを用いたパズルや「芸術作品」もお見せし ます。詳しくは、http://www.i.h. kyoto-u. ac.jp/-tsuiki/をご覧ください。	講義・演習	保護者 参観型
吉田	C 10	放射能を知る 〜身近な自然放射能の捕集と測定〜 秋吉 優史 (工学研究科助教)	放射能、放射線の性質を実際に体験して理解を深めることを目的にします。まず、サーベイメーターの種類と使い方を説明し、実際に操作して放射線の性質について学習します。次に身近な天然放射能である空気中のラドンを掃除機を使って捕集し、時間と共に減っていく崩壊挙動をその場で測定します。また、霧箱をもちいた観察や、ポスターを用いた講義などで放射能・放射線の知識を身に付けます。	実験主体	保護者 参観型
宇治	C 11	地震学 一地震をはかろう— 加納 靖之 (防災研究所助教)	地震が発生したときに報道される震度やマグニチュードはすべて地震計で測定した地面の揺れをもとに算出しています。また、地震がつくりだす地面の揺れ方を調べることによって、地震の起こった場所(震源)や断層の動き方、地下や地球内部の構造などがわかります。この実習では地震計によるデータをもとに、どこでどのような地震が起こっているか考えてみましょう。	実習等	保護者参加型
宇治	Y 4	環境技術	研究の背景にある化石資源枯渇や地球温暖化等の環境問題に簡単に触れ、バイオエタノール生産の必要性や一般的な製造方法について説明します。 続いて、木材の科学的特徴についてわかりやすく解説した上で、本研究室で取り組んでいるマイクロ波を利用した木材処理技術を紹介します。必要に応じて安全かつ簡潔明瞭な実験・実演を実施します。	講義・化学 実験 又は実演	保護者 参観型